

ごあいさつ



取締役頭取

植野康夫

平素より私ども南都銀行をご利用、お引き立ていただき誠にありがとうございます。
とうございます。

このたび皆さまに平成24年9月期の業績や当行の取組みなどをお伝えるため「ミニディスクロージャー誌/第125期 営業の中間ご報告」を作成いたしました。ご高覧いただければ幸いに存じます。

わが国経済の状況は世界景気の減速等を背景として弱めの動きとなっており、当面は一進一退の状況が続くものと思われま。奈良県を中心とする地元経済は生産活動が引き続き低調な水準に留まっており、雇用や個人消費の持ち直しにも一服感がみられるなど、ほぼ横ばいの動きが続いています。

こうしたなか当行は、平成26年6月の創立80周年に向けた長期ビジョン「さらなる企業価値の向上をめざして～地域とともに成長する銀行～」の実現に向け、中期経営計画「ベスト・バリューNANTO」の諸施策をはじめとする地域密着型金融を今まで以上に積極的に推し進めています。特に地域金融機関の使命である「地域経済の活性化」の実現につなげるため、お取引先企業のニーズや潜在的な需要に対するソリューション（課題解決）の提供を通じて、新たな事業展開やビジネスチャンスの創出を支援しています。また中小企業金融円滑化法は今年度が最終年度となりますが、当行は同法の期限到来後も引き続きさまざまなノウハウを駆使した「コンサルティング機能」の発揮を通じ、お取引先企業の抱える経営課題の解決に全力で取り組んでまいります。

役職員一同、中期経営計画の達成および長期ビジョンの実現に向け精一杯努力する所存でございますので、今後ともより一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年12月